



むくげの会「2回目の成人式」、にぎやかに開催しました 2011.1.15

思えば40年前の1月5日、むくげの会は産声をあげたのであります。会場は、甲子園球場近くの児童会館（月見里公園）。なんと当時は朝鮮語と歴史勉強あわせて週3回の例会を開いている。2、3回元町？の勤労会館で開いたのち、東灘区の佐藤長さん宅をお借りして例会が続いた。朝鮮語の講師は佐久間さん、みんな当時はよく勉強した！？



おそらく1970年末ごろに発行された会への「招待状」（B4表裏）がある。なかなか格調が高い文章だ！？ガリは堀内、ガリ版時代は筆跡でだれの字かすぐ分かるのがいい。『むくげ通信』1号（当時は無窮花通信）は発行日がないが次回の予定に1月19日があるので、そのあたりの発行だ。B5、1枚。2号（1971.1.25）もB5（1枚）で「ゆくゆくは会の機関誌的なものに発展させたいと思います」とある。また当時は適当な朝鮮語教科書が『基礎朝鮮語』しかもそれも絶版中。コピーも高価な時代で「求む！語学の教材をしてくださる方。書体の美醜は問いません」とある。カーボン複写で書いたり、青焼きコピー（若い人は分からぬ・・）したりしていた。1971年の3.1集会の講師は姜在彦先生、通信4号（1971.3.30）にその記録がある。

通信9号（1971.9.27）はB5、8頁、10号（1971.12.20）、11号（1972.2.20）は12頁。13号

（1972.6.14）4頁、14号

（1972.8.5）30頁とだんだんと充実し、18号（1973.5.6、28頁）あたりから隔月刊28頁発行が長い間続く。一昨年あたりに郵便からヤマトメール便へ変更ののちは重量50グラムまでという制約がなくなり、増頁版がときどき出されるようになった。そして今号より誌上初、A4版の通信となったのである。

1973年から1年分6号分を合わせて合本も作っている。73~75年版は残部がなくなったが1976年版から2009年版まで34冊の合本がすべてそろっている。合本は印刷段階で合本用の通信を100~200冊印刷して、個別のバックナンバーの注文にも応じないという徹底した合理主義？から生まれたものである。それでも合本が品切れになったこともあるが、そんなとき韓国の友人が「韓国で複写版を作ったら安い」と教えてくれた。原本を1冊送るとそっくりそのまま複写版を作ってくれるのである。韓国では日本と





違って修士（碩士）論文などを 100 部？提出することになっており、そのために各地で複写印刷所が発展しているとのことだ。その韓国の友人は合本の発注をしてくださり、おまけに来日のときに持参してくれた。5 年分ほどをつくったのですごい分量、重量になるがどういう訳か追加飛行料金なしで日本にやってきた。私は感謝感謝で空港までお迎えにいたのである。合本がどんどん売れればいいがそうはいかない。不良在庫の合本もある。先の 2 回目の成人式の引き出物の合本は、その一部なので心配くださらないように…（心配なんかしていない！？）。

（通信 1～21 号、1971.1～1973.11 の復刻版を作りました。「招待状」も含む。全 4 冊、計 2000 円、送料 160 円、希望者は会まで）

そして、今回のパーティ。もうひとつ引き出物があった。それは『むくげ愛唱歌集』（1985.6）の復刻版だ。この歌集はおそらく 4000 部は販売したむくげ出版のベストセラー

で、改訂版出版が期待されていたものである。韓国からの客人にも人気があり、朝鮮民主主義人民共和国の部分を切り取って韓国に持つて帰った方もいた。現在ではそんなことは必要ないが、当時は仕方なかったのである。民謡（20 曲）、日帝下の大衆歌謡（10）、韓國の大衆歌謡（36）、童謡（14）、歌曲（14）、朝鮮民主主義人民共和国の歌（13）が収録されている。

その歌集の出版記念会は延々と続き、107 曲すべてを歌いつくしたことが思い起こされる。悪夢ともいえる・・・。A4 変型判の歌集を今回 A4 版で復刻した。いまだに朝鮮語を勉強する人が覚えたらしい歌がうまく選曲されているという噂である。印刷以外すべて手作りの歌集で、当時コンピュータ方式のハングルタイプライターが出たときで、デモンストレーションで学生センターに来た機会を使い倒してできあがったものだ。解説は、堀内（民謡、童謡、歌曲）、山根（大衆歌謡）、佐久間（朝鮮民主主義人民共和国の歌）が主に担当した。（それ以前のハングルタイプは、パッチムの扱いなどそれは本当にややこしかったのである。コンピュータ方式のタイプライターは本当に感動した！！）

改訂版の出版が期待されていたが、改訂版は選曲のやり直しなど本当に難しい。成人式のどさくさにまぎれて復刻版をだしたのが正解のようである。（復刻版歌集も 800 円、送料 160 円で販売中）

さて、「2 回目の成人式パーティ」、森崎さんが撮ってくださったすてきなパノラマ写真のようににぎやかに開かれた。約 50 名の参加者、だれがだれか、おわかりりかな？ 山根の分析によれば出席者は、以下のとおり。

①むくげの会・現役会員とその家族（11名）／堀内稔、飛田雄一、飛田みえ子、山根俊郎、寺岡洋、信長正義、信長たか子、深田晃二、山下昌子、山下





(梁永厚先生)

裕、大和泰彦、②むくげの会・休会、退会会員との家族（8）／鹿嶋節子、北原道子、倉持光雄、若生みすず、大野貞枝、尹達世、佐々木道夫、佐野二三雄、③むくげの会・創生期のメンバーおよび来賓級（4）／石塚健、西信夫、小川秀人、梁永厚、④大切な友人（24）／徐根植、大山浩一、友井公一、森行雄、尹英順、藤井幸之助、鈴木常勝、深田圭子、嶋田恭子ご夫妻、宮川守、島津威雄、小西和治、森崎和夫、足立龍枝、小宮勇介、菊池、志村三津子、小山帥人、渡辺正恵、姜守殷、高岡直介、高吉美、中川健一、上田盛次子



(鹿嶋、山下のピアノ連弾)

創立メンバーの西信夫さん、表紙挿絵の志村さん、会の超友好団体・兵庫朝鮮関係研究会の徐根植さん（写真）、東京からむくげ卒業生の北原さん、若生さんらもかけつけてくださったのである。



(寺岡のピアノ演奏)



(むくげの会創立メンバーの西信夫さん)

オープニングは鹿嶋、山下のピアノ連弾。参加者みんなが、なにかやった。歌も「歌集出版記念会」ほどではないがたくさんでた。学生センター朝鮮語講座卒業生の森行雄さんのおはこ「銀座のすずめ」の名調子に久しぶりに堪能した。午後0時にスタートしたパーティは二次会、三次会もすべて学生センターホールで、延々四時間半。すべての料理とお酒を平らげたのである。会費3000円は安いものだという声も、ちらほら・・・・。



(兵庫朝鮮関係研究会の徐根植さん)



(われらが森行雄さん)

「3回目の成人式パーティをやれ」「2.5回目なら可能性がある！？」などなどたくさんの激励をいただきました。ありがとうございます。さらに精進したいと決意を新たにしたパーティでした。（飛田）